

事例13：作業台から作業員が転落し負傷

作業台を使用し、ラチェットレンチでボルトを緩めたところ、ラチェットレンチがボルトから外れ、その弾みで作業員がバランスを崩し転落、負傷した。

原因

- 作業台の手すりを側面に設置していなかった。
- 墜落制止用器具が、衝撃吸収装置が働かない構造だった。

行動

- ボルトを緩めたところラチェットレンチがボルトから外れ、その弾みでバランスを崩し落下

墜落制止用器具のフックが手すりを滑り、この位置まで移動

1.55m

結果

- 右手首骨折、右大腿部裂傷

教訓

- ① 作業台の手すりは側面にも設置する。
- ② ストッパー付きの墜落制止用器具を使用する。
- ③ 墜落制止用器具のフックは適切な場所にかける。

ラチェットレンチ2本でボルトを緩める作業

転落

足場板に手を打ち付け骨折

H鋼の角にあたり裂傷

